

# 2022 第53回 中部日本ジュニア水泳選手権大会

## 2022年9月24日(土)～9月25日(日) 日本ガイシアリーナ(50m)

順位	氏名	チーム名	学年	タイム	PB
<b>No.1 女子 小学生の部 200m 自由形 予選</b>					
2位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	2:19.13	
<b>2位</b>	<b>No.25 同 決勝</b>			<b>2:15.64</b>	
<b>No.13 女子 小学生の部 50m 自由形 予選</b>					
14位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	30.21	
<b>No.57 女子 小学生の部 100m 自由形 予選</b>					
10位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	1:05.56	
6位	<b>No.77 同 決勝</b>			<b>1:03.91</b>	
<b>3位</b>	<b>No.69 女子 小学生の部 400m 自由形 T決勝</b>				
	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	4:49.34	
順位	氏名	チーム名	学年	タイム	PB
<b>No.3 女子 中学生の部 200m 自由形 予選</b>					
11位	玉置 侑衣	1toSWIM	中1	2:12.14	
<b>No.15 女子 中学生の部 50m 自由形 予選</b>					
46位	玉置 侑衣	1toSWIM	中1	29.36	
<b>No.59 女子 中学生の部 100m 自由形 予選</b>					
20位	玉置 侑衣	1toSWIM	中1	1:02.49	
<b>4位</b>	<b>No.71 女子 中学生の部 400m 自由形 T決勝</b>				
	玉置 侑衣	1toSWIM	中1	4:29.87	



今年で第53回目を迎えた歴史ある大会「中部ジュニア」が行われました。

大会名にもある通り、中部地区から厳しい参加標準記録を突破した選手が集まり、中にはこの夏の全国大会で優勝した選手も出場する、レベルの高い競技会ですが、参加した2名はともに素晴らしい泳ぎを見せてくれました。

丹所選手は、200m自由形、100m自由形でそれぞれ予選を突破。そして決勝では、そのタイムと順位を大幅にアップさせ、確実な成長と強さを見せてくれました。また、400m自由形ではラスト10mで逆転して表彰台にあがるなど、日頃からレースの終盤の詰めをしっかりと練習してきた成果を、この大舞台で発揮してくれました。

中学1年生の玉置選手は、「中学生の部」という壁に跳ね返されましたが、予選でのタイムは夏の強化の成果を見せてくれました。特筆すべきは、400m自由形です。惜しくも表彰台は逃しましたが、一気に6秒バストを更新し、エントリーから大幅に順位をアップ。この泳ぎには、他チームのコーチからもどよめき起きたほどです。

2名とも、夏の全国JOCジュニアオリンピックカップに出場した実力の持ち主ですが、次回「春季JOC」では、年齢区分が変わるため、さらに制限タイムが厳しくなります。しかし、今回のレース結果は、もうその制限タイムが目の前、というところまで一気にジャンプアップしました。着実に力を付けている2人が、ますますたくましくなってきた姿を見ることができ、年に数回あるかという『素晴らしい結果を残した大会』となりました。(報告:加藤)